

# 2005年(平成17年)感染症発生動向調査結果

## 一患者情報一

2005年（平成17年）感染症発生動向調査事業 報告週対応表

1月							
週	月	火	水	木	金	土	日
53						1	2
1	3	4	5	6	7	8	9
2	10	11	12	13	14	15	16
3	17	18	19	20	21	22	23
4	24	25	26	27	28	29	30
5	31						

7月							
週	月	火	水	木	金	土	日
26					1	2	3
27	4	5	6	7	8	9	10
28	11	12	13	14	15	16	17
29	18	19	20	21	22	23	24
30	25	26	27	28	29	30	31

2月							
週	月	火	水	木	金	土	日
5		1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	12	13
7	14	15	16	17	18	19	20
8	21	22	23	24	25	26	27
9	28						

8月							
週	月	火	水	木	金	土	日
31	1	2	3	4	5	6	7
32	8	9	10	11	12	13	14
33	15	16	17	18	19	20	21
34	22	23	24	25	26	27	28
35	29	30	31				

3月							
週	月	火	水	木	金	土	日
9		1	2	3	4	5	6
10	7	8	9	10	11	12	13
11	14	15	16	17	18	19	20
12	21	22	23	24	25	26	27
13	28	29	30	31			

9月							
週	月	火	水	木	金	土	日
35				1	2	3	4
36	5	6	7	8	9	10	11
37	12	13	14	15	16	17	18
38	19	20	21	22	23	24	25
39	26	27	28	29	30		

4月							
週	月	火	水	木	金	土	日
13					1	2	3
14	4	5	6	7	8	9	10
15	11	12	13	14	15	16	17
16	18	19	20	21	22	23	24
17	25	26	27	28	29	30	


10月							
週	月	火	水	木	金	土	日
39						1	2
40	3	4	5	6	7	8	9
41	10	11	12	13	14	15	16
42	17	18	19	20	21	22	23
43	24	25	26	27	28	29	30
44	31						

5月							
週	月	火	水	木	金	土	日
17							1
18	2	3	4	5	6	7	8
19	9	10	11	12	13	14	15
20	16	17	18	19	20	21	22
21	23	24	25	26	27	28	29
22	30	31					

11月							
週	月	火	水	木	金	土	日
44		1	2	3	4	5	6
45	7	8	9	10	11	12	13
46	14	15	16	17	18	19	20
47	21	22	23	24	25	26	27
48	28	29	30				

6月							
週	月	火	水	木	金	土	日
22			1	2	3	4	5
23	6	7	8	9	10	11	12
24	13	14	15	16	17	18	19
25	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30			

12月							
週	月	火	水	木	金	土	日
48				1	2	3	4
49	5	6	7	8	9	10	11
50	12	13	14	15	16	17	18
51	19	20	21	22	23	24	25
52	26	27	28	29	30	31	

 「愛媛県感染症情報」発行日

## 2005年(平成17年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -

## 1 全数把握対象 一～五類感染症

## (1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

## (2) 二類感染症

## コレラ

60歳代男性1人の届出があり、推定感染地はインドネシア(バリ島)であった。検出された菌はO1エルトル小川型で、コレラ毒素遺伝子が確認された。同時期(第19、20週5月9～22日診断)に本県分を含み全国で8人(うち無症状病原体保有者1人)の届出があった。全てインドネシア・バリ島へ旅行して帰国した者で、O1エルトル小川型が検出されたことから、特定の原因に曝露されたことによるコレラの集団発生と考えられた。

## (3) 三類感染症

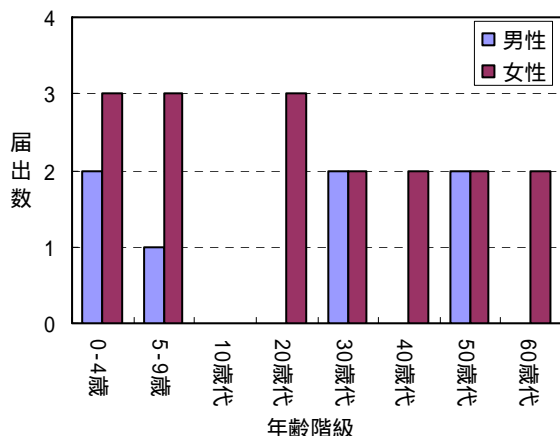
## 腸管出血性大腸菌感染症

本疾患は17事例24人(患者18人、感染者6人)の届出があり、感染症法施行以降では2002年に次いで届出数が少なかった。性別は男性7人、女性17人で女性が多く、年齢別では10歳未満9人、20歳代3人、30歳代4人、40歳代2人、50歳代4人、60歳代2人で、2003年以降見られた幼稚園等における乳幼児の集団発生はなく、乳幼児の患者の割合が減少した。

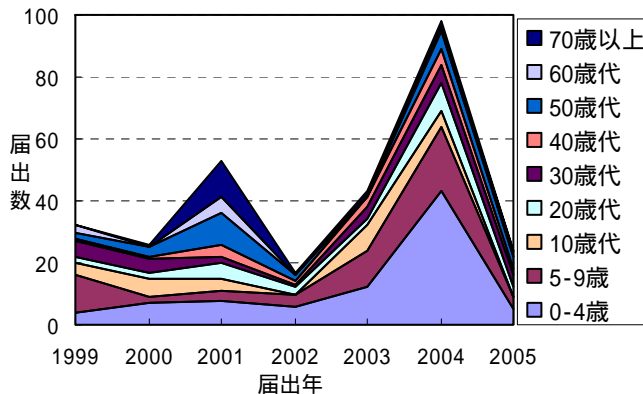
血清型(Vero毒素型)は、O157 10人(VT1・VT2 6人、VT1 1人、VT2 3人)、O26 8人(VT1)、O111 2人(VT1)、O91 1人(VT1・VT2)、O146 1人(VT1)、血清型不明2人(VT1 1人、VT2 1人)であった。

本疾患は、通常夏季に多発する傾向があるが、本年も8月に14人(O157 6人、O26 8人)の届出があった。

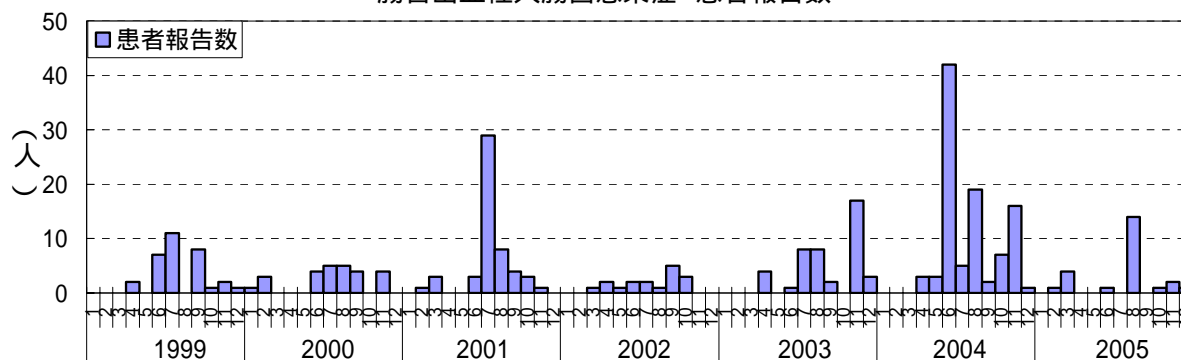
年齢階級・性別患者数(2005年)



年齢階級別患者数(年推移)



腸管出血性大腸菌感染症 患者報告数



腸管出血性大腸菌感染症 事例別一覧

事例番号	届出月日	発生地 (患者所在地)	血清型	ベロ毒素	届出数
1	2月26日	松山市	O111	VT1	1
2	3月1日	松山市	O111	VT1	1
3	3月28日	松山市	型不明	VT1	1
4	3月28日~	松山市	O157	VT1・VT2	2
5	6月20日	新居浜市	O157	VT2	1
6	8月4日	松山市	O157	VT1	1
7	8月9日	東温市	O157	VT1・VT2	1
8	8月10日	四国中央市	O157	VT2	1
9	8月17日	高知県	O157	VT2	1
10	8月17日~	松山市	O26	VT1	2
11	8月20日~	新居浜市 松山市	O26	VT1	4
12	8月22日	宇和島市	O26	VT1	1
13	8月25日	伊予郡	O26	VT1	1
14	8月25日~	松山市	O157	VT1・VT2	2
15	10月15日	松山市	O91	VT1・VT2	1
16	11月14日~	松山市	O146 型不明	VT2	2
17	12月1日	松山市	O157	VT1・VT2	1
計					24

## (4) 四類感染症

## オウム病

40 歳代女性 1 人の届出があった。患者はペットショップに勤務しており、そこでの感染が疑われた。なお、患者以外のペットショップ関係者に同様な症状を示す者はいなかった。

## 日本紅斑熱

本疾患は 6～11 月に 4 人の届出があった。性別は男性 2 人、女性 2 人で、年齢は 50 歳代 2 人、60 歳代 1 人、70 歳代 1 人で、宇和島保健所管内が 3 人、松山市保健所管内が 1 人であった。いずれもダニ（マダニ）による刺咬歴が確認された。媒介動物との接触場所はすべて国内で、みかん山 2 人、畑 1 人、不明 1 人であった。本疾患は 2003 年 8 月に県内で初めて患者が中予で届出されて以降、2003 年 2 人、2004 年 6 人と毎年患者が発生しており、今後の動向に注意が必要である。

日本紅斑熱 届出患者一覧

事例番号	届出月日	年齢	性別	管内保健所	媒介	媒介動物との接触場所
1	6月22日	60歳代	女	宇和島	マダニ	国内（不明）
2	9月5日	50歳代	男	宇和島	マダニ	国内（畑）
3	10月3日	50歳代	女	宇和島	マダニ	国内（みかん山）
4	11月21日	70歳代	男	松山市	マダニ	国内（みかん山）

## マラリア

本疾患は熱帯熱マラリア 1 人、三日熱マラリア 1 人の合計 2 人の届出があった。両事例とも 40 歳代男性で、推定感染地域はともにミャンマーであった。

## (5) 五類感染症

## アメーバ赤痢

本疾患は 4 人の届出があった。年齢は 30 歳代 1 人、50 歳代 2 人、60 歳代 1 人で、すべて男性であった。推定感染地域はいずれも国内で、推定感染経路は経口感染 1 人、不明 3 人であった。

## ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）

本疾患は 3 人の届出があり、B 型 1 人、C 型 2 人で、推定感染地域はいずれも国内であった。

B 型肝炎は 80 歳代男性で、輸血による感染が疑われた。

C 型肝炎は 20 歳代男性と 30 歳代男性の届出があり、針刺し事故と刺青の施術による感染が疑われた。

クロイツフェルト・ヤコブ病

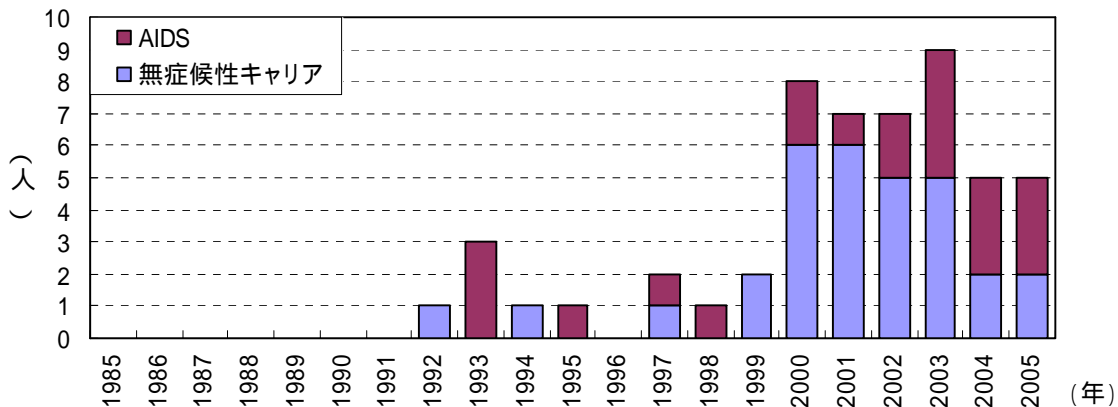
本疾患は3人の届出があった。60歳代男性1人、60歳代女性1人、70歳代男性1人で、いずれも孤発性であった。

後天性免疫不全症候群

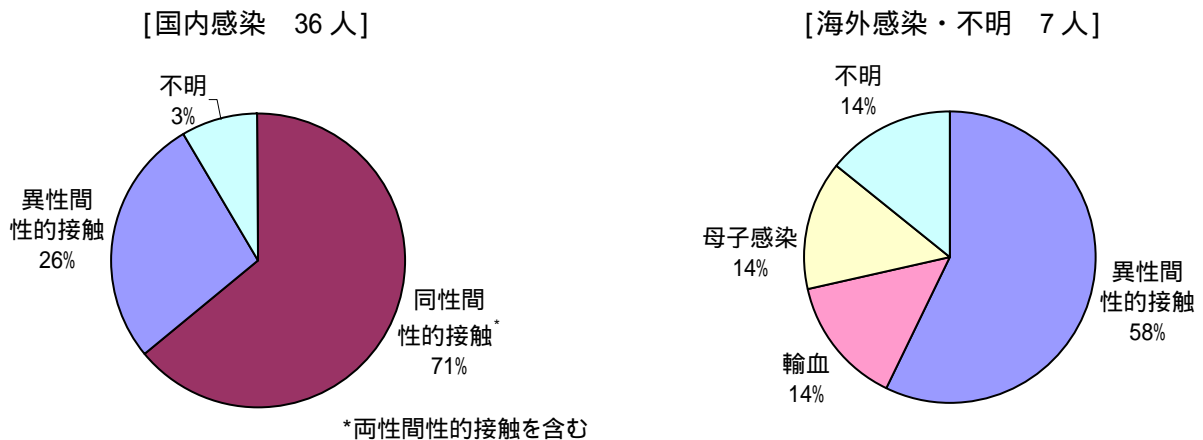
後天性免疫不全症候群は5人の届出があり、そのうち無症候性キャリア2人、AIDS 3人であった。20歳代1人(AIDS)、30歳代3人(無症候性キャリア2人、AIDS 1人)、40歳代1人(AIDS)で、すべて男性であった。推定感染地域はいずれも国内で、推定感染経路は性的接触(異性間2人、同性間1人)、不明2人であった。

県内の無症候性キャリア及びAIDS患者数の年次推移をみると、1992年に初めて届出されてから1999年までは毎年1~2人程度で推移していたが、2000年以降は年間届出数5人以上と多い状態が続いている。1999年4月1日以降、感染症法に基づいて届出された43人の感染経路別内訳は、国内感染例36人のうち23人(71%)が男性の同性間性的接触(同性・異性間を含む)であり、全国的な傾向と同様、県内においても男性の同性間性的接触が主要な感染経路となっている。

愛媛県における HIV 感染者及び AIDS 患者の年次推移



感染経路別内訳 (1999年4月1日以降届出者)



### 梅毒

本疾患は3人の届出があり、早期顕症梅毒(期)1人、晩期顕症梅毒1人、無症候梅毒1人であった。すべて男性で、40歳代2人、50歳代1人であった。いずれも推定感染地域は国内で、異性間性的接触による感染が推定された。

### 破傷風

本疾患は40歳代男性2人、70歳代男性2人の合計4人の届出があった。いずれも国内での感染であり、推定感染経路は外傷による創部からの感染が3例、不明が1例であった。

表 2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)

感染症 種類	年	愛媛県						全国						
		2005	2004	2003	2002	2001	2000	2005	2004	2003	2002	2001	2000	
一類	エボラ出血熱													
	クリミア・コンゴ出血熱													
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)*				-	-	-				-	-	-	
	痘そう				-	-	-				-	-	-	
	ペスト													
	マールブルグ病													
ラッサ熱														
二類	急性灰白髄炎													1
	コレラ	1						55	86	25	51	50	58	
	細菌性赤痢		3	3	6	7	50	557	594	473	699	844	843	
	ジフテリア													1
	腸チフス					2		50	67	62	63	65	86	
	パラチフス							18	88	44	35	22	20	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	24	98	43	17	53	28	3,573	3,715	2,999	3,183	4,435	3,642	
四類	E型肝炎		2	1				41	37	3	-	-	-	
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)							1						
	A型肝炎		2	18	7	2	12	168	139	13	-	-	-	
	エキノコックス症							18	26	20	10	15	22	
	黄熱													
	オウム病	1	1					34	40	44	54	35	18	
	回歸熱													
	Q熱							8	7	9	47	42	24	
	狂犬病													
	高病原性鳥インフルエンザ*				-	-	-					-	-	-
	コクシジオイデス症							5	5	1	3	2	1	
	サル痘*				-	-	-					-	-	-
	腎症候性出血熱													
	炭疽													
	つつが虫病							1	345	313	402	338	491	791
	デング熱								73	49	32	52	50	18
	ニパウイルス感染症*					-	-	-				-	-	-
	日本紅斑熱	4	6	2					62	66	52	36	40	38
	日本脳炎					1			7	5	1	8	5	7
	ハンタウイルス肺症候群													
	Bウイルス病													
	ブルセラ症								2			1		
	発疹チフス													
	ボツリヌス症								3					
	マラリア	2	1	2	3				66	75	78	83	109	154
	野兔病*				-	-	-					-	-	-
ライム病								8	5	5	15	15	12	
リッサウイルス感染症*				-	-	-					-	-	-	
レジオネラ症			1	1				280	161	146	167	86	154	
レプトスピラ症*		1			-	-	-	15	18	1	-	-	-	
五類	アメーバ赤痢	4	3	3		3	4	688	610	520	465	429	378	
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	3	8	6	2	3	15	275	293	650	948	929	991	
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)*		2		-	-	-		183	166	12	-	-	-
	クリプトスポリジウム症								9	92	8	109	11	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	2	2		3		148	175	118	147	133	108	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				3				60	52	53	92	47	47
	後天性免疫不全症候群	5	5	9	7	7	8	1,195	1,162	970	916	947	794	
	ジアルジア症			1	1	1	1		82	94	103	113	137	98
	髄膜炎菌性髄膜炎								10	21	18	9	8	15
	先天性風しん症候群								2	10	1	1	1	1
	梅毒	3	9	4	7	6	11	559	533	509	575	585	759	
	破傷風	4	2	2	4	5	1	114	101	73	106	80	91	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症*				-	-	-					-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								71	58	59	44	40	36
計		54	145	97	58	93	131	8,785	8,863	7,504	8,370	9,653	9,211	

注1: (\*)の疾患については2003年11月5日からの数値である。

注2: 全国の2004年、2005年の報告数については概数である。

注3: 全国のウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)の報告数については、2003年11月5日以前はE型肝炎及びA型肝炎を含む。



表 2-1-2 2005年全数把握対象疾患発生状況(月別)

平成17年1月1日～平成17年12月31日

感染症類型	疾病名	月																
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
一類	エボラ出血熱																	
	クリミア・コンゴ出血熱																	
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																	
	痘そう																	
	ペスト																	
	マールブルグ病																	
二類	ラッサ熱																	
	急性灰白髄炎																	
	コレラ	1					1											
	細菌性赤痢																	
	ジフテリア																	
	腸チフス																	
三類	パラチフス																	
	腸管出血性大腸菌感染症	24		1	4				1		14		1	2	1			
四類	E型肝炎																	
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																	
	A型肝炎																	
	エキノコックス症																	
	黄熱																	
	オウム病	1														1		
	回帰熱																	
	Q熱																	
	狂犬病																	
	高病原性鳥インフルエンザ																	
	コクシジオイデス症																	
	サル痘																	
	腎症候性出血熱																	
	炭疽																	
	つつが虫病																	
	デング熱																	
	ニバウイルス感染症																	
	日本紅斑熱	4							1			1	1	1				
	日本脳炎																	
	ハンタウイルス肺症候群																	
	Bウイルス病																	
	ブルセラ症																	
	発疹チフス																	
ポツリヌス症																		
マラリア	2			1							1							
野兔病																		
ライム病																		
リッサウイルス感染症																		
レジオネラ症																		
レプトスピラ症																		
五類	アmeerバ赤痢	4		1					1		1		1					
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	3		1							1			1				
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)																	
	クリプトスポリジウム症																	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	2										1					
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症																	
	後天性免疫不全症候群	5							2		1					2		
	ジアルジア症																	
	髄膜炎菌性髄膜炎																	
	先天性風疹症候群																	
	梅毒	3							1		1				1			
	破傷風	4			2						1	1						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																	
計	54	2	3	7				4	4	4	17	1	5	6	1			

表2-1-3 2005年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)

平成17年1月1日～平成17年12月31日

感染症類型	保健所名 疾病名	計	四国中央	西条	今治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
一類	エボラ出血熱								
	クリミア・コンゴ出血熱								
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)								
	痘そう								
	ペスト								
	マールブルグ病								
二類	ラッサ熱								
	急性灰白髄炎								
	コレラ	1						1	
	細菌性赤痢								
	ジフテリア								
三類	腸チフス								
	パラチフス								
三類	腸管出血性大腸菌感染症	24	1	4		17			2
四類	E型肝炎								
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)								
	A型肝炎								
	エキノコックス症								
	黄熱								
	オウム病	1			1				
	回歸熱								
	Q熱								
	狂犬病								
	高病原性鳥インフルエンザ								
	コクシジオイデス症								
	サル痘								
	腎症候性出血熱								
	炭疽								
	つつが虫病								
	デング熱								
	ニバウイルス感染症								
	日本紅斑熱	4				1			3
	日本脳炎								
	ハンタウイルス肺症候群								
	Bウイルス病								
ブルセラ症									
発疹チフス									
ポツリヌス症									
マラリア	2						2		
野兔病									
ライム病									
リッサウイルス感染症									
レジオネラ症									
レプトスピラ症									
五類	アメーバ赤痢	4		2		1	1		
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	3	1	1	1				
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)								
	クリプトスポリジウム症								
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				3			
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								
	後天性免疫不全症候群	5		1		3	1		
	ジアルジア症								
	髄膜炎菌性髄膜炎								
	先天性風疹症候群								
	梅毒	3		1		1			1
	破傷風	4			1	1	1		1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症								
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								
	計	54	2	9	3	27	5	1	7

注:1月1日～3月31日の新居浜保健所への届出は西条保健所へ、大洲保健所への届出は八幡浜保健所へそれぞれ含めた。

表 2-1-4 2005年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)

平成17年1月1日～平成17年12月31日

感染症 類 型	年齢 疾病名	計	0	1	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	
			歳	4	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	歳 以上	
一類	エボラ出血熱																		
	クリミア・コンゴ出血熱																		
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																		
	痘そう																		
	ベスト																		
	マールブルグ病																		
二類	ラッサ熱																		
	急性灰白髄炎																		
	コレラ	1														1			
	細菌性赤痢																		
	ジフテリア																		
	腸チフス																		
三類	パラチフス																		
	腸管出血性大腸菌感染症	24		5	4				3	3	1		2		4	1	1		
四類	E型肝炎																		
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																		
	A型肝炎																		
	エキノコックス症																		
	黄熱																		
	オウム病	1											1						
	回帰熱																		
	Q熱																		
	狂犬病																		
	高病原性鳥インフルエンザ																		
	コクシジオイデス症																		
	サル痘																		
	腎症候性出血熱																		
	炭疽																		
	つつが虫病																		
	デング熱																		
	ニパウイルス感染症																		
	日本紅斑熱	4													1	1	1		1
	日本脳炎																		
	ハンタウイルス肺症候群																		
	Bウイルス病																		
	ブルセラ症																		
	発疹チフス																		
	ポツリヌス症																		
マラリア	2												2						
野兔病																			
ライム病																			
リッサウイルス感染症																			
レジオネラ症																			
レプトスピラ症																			
五類	アメーバ赤痢	4								1					2	1			
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	3						1		1								1	
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎を除く)																		
	クリプトスポリジウム症																		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3															2		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症																		
	後天性免疫不全症候群	5								1	2	1	1						
	ジアルジア症																		
	髄膜炎菌性髄膜炎																		
	先天性風疹症候群																		
	梅毒	3											2		1				
	破傷風	4												2					2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症																			
計	54		5	4				1	4	7	2	3	7	2	7	6	1	5	